

2016年9月 淳風会長久手支部スケジュール

日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3 秋ヶ池練習 (会費集金)
4 練習休み 愛知県空手道錬成大会 (愛知県体育館)	5	6	7 秋ヶ池練習 (会費集金)	8	9	10 秋ヶ池練習
11 秋ヶ池練習 ※洋平休 全日本団体選考会 (守山SC) 県連ジュニア強化練習 (緑SC)	12	13	14 秋ヶ池練習	15	16	17 秋ヶ池練習
18 練習休み 昇級審査会 (緑SC) 県連ジュニア強化練習 (緑SC)	19 常心門強化部練習会 (みよし市立黒笹小学校)	20	21 秋ヶ池練習	22	23	24 秋ヶ池練習 全日本マスターズ (秋田)
25 秋ヶ池練習 東海学生選手権大会 (名古屋商科大学) 全日本マスターズ (秋田)	26	27	28 秋ヶ池練習	29	30	

秋ヶ池体育館練習

毎週水曜日 土曜日	1部 PM6:00~7:30(全員) (体づくり30分、基本30分、クラス別30分) 組手 PM7:40~8:15(希望者) 2部 PM8:15~8:45(2級以上中心)
毎週日曜日	PM3:00~5:00(全員)

農村改善センター練習

土曜日	1部 PM6:00~7:30(全員) (体づくり30分、基本30分、クラス別30分) 組手 PM7:40~8:15(希望者) 2部 PM8:15~8:45(2級以上中心)
------------	--

・会費 (道着・拳サポーター申込みも含む) の集金について
会費の集金は第1水曜日の7:15~7:45 及び、第一土曜日の6:00~6:30に受け付けます。

9月の主な行事

9/4 (日)	愛知県空手道錬成大会 (愛知県体育館)
9/11 (日)	県連ジュニア強化練習 (緑SC、9:00~12:00)
9/18 (日)	昇級審査会 (緑SC)
9/18 (日)	県連ジュニア強化練習 (緑SC、13:00~17:00)
9/24・25 (土・日)	全日本マスターズ (秋田)
9/25 (日)	東海学生空手道選手権大会 (名古屋商科大学)

10月の主な行事

10/1・2 (土・日)	長久手支部合宿 (旭高原)
10/8~10 (土~月)	国民体育大会 (岩手)
10/9・10 (日・月)	愛知県高校新人戦
10/10 (月)	県連ジュニア強化練習 (東郷町総合体育館)
10/16 (日)	清空会大会
10/23 (日)	日輪杯空手道大会 (日進市スポーツセンター)
10/25~30	世界空手道選手権大会 (オーストリア)
10/30 (日)	尾張旭市大会

第47回常心門選手権大会ならびに女子錬成競技大会 (7月31日 中区スポーツセンター)

別紙をご覧ください!

全国少年少女空手道選手権大会 (8月6・7日 東京武道館)

小学1年生男子組手	伊藤文武出場	1回戦敗退
小学2年生男子型	浅井翔守出場	2回戦敗退

大変お疲れ様でした。

オリンピック

この夏、4年に一度のオリンピックがありましたね。日本人の大活躍。毎日遅くまで、また早起きして見ていました。頑張っている選手たちの姿に、何度も目頭が熱くなりました。なんで、オリンピックってこんなに目が離せないんだろう? 感動するんだろう? それは、オリンピックが、「人類の可能性を広げる挑戦」だからなのだと思います。オリンピックの金メダリストは、それまで世界中の人たちが頑張って乗り越えてきた進化の集大成。日本人がその中の頂点に立つ瞬間は、日本人としての可能性をこの目に見せてくれた瞬間です。日本人の世界最高の進化、を見せてくれた瞬間です。オリンピックで活躍する選手たちから学んだこと。それは、世界に通用する日本人らしさとは何か? ということ。

一つ目は、最後まであきらめない心。このオリンピックでも、最後の最後に逆転して勝つ場面が本当にたくさんありました。これは、最後まであきらめない心で、普段から練習してきた結果、身についたスタミナや精神力からくるものだと思います。

二つ目は、丁寧さや繊細さ。日本の文化は一つ一つが緻密で美しいと思います。器械体操やシンクロナイズドスイミングの美しさや、水泳やランニングの整ったフォーム。その正確さが高い技術となり、世界と対等に競り合うことができるのだと思います。

日本人は、世界と比べて小柄で力もありません。もちろん、身体を大きくする努力、力をつける努力もしなければなりません。しかしその方向性に突き進んだとしても、世界の壁に必ずぶつかってしまうでしょう。日本人として、日本人らしく世界と戦うために目指すべき方向は、精神力や繊細さにあるのではないかと感じました。

常心門宗家の池田奉秀先生は、いち早くそんな日本人の特性に気づき、「海外の屈強な男たちの前で、私は女性のようなでした。との感性から女子武道を開きました。その中には、常心門の神髄となるものであり、日本人の歩むべき道となるものが含まれているように思えます。

そして、2020年東京オリンピックの種目に空手道が正式採用されました。オリンピック競技として相応しいものとなるように、空手道を通して、人類の可能性を広げる。これが、指導者として求められている課題なのだと感じています。(文: 水田洋平)